

(様式第 1 号)

☐ 会議録 ☒ 会議要旨

会議の名称	令和 8 年度第 1 回芦屋市景観アドバイザー会議
日 時	令和 8 年 4 月 2 0 日 (月) 午前 9 時 3 0 分～正午
場 所	芦屋市役所東館 3 階中会議室
出 席 者	委 員 佐久間 康富、西野 雄一郎、松尾 薫 届 出 者 申請者等 事 務 局 谷崎課長、中田係長、協係員、村上係員、中西係員
事 務 局	まちづくり課
会議の公開	☐ 公開 ----- ☐ 非公開 ☒ 一部公開 会議の冒頭に諮り、出席者 3 人中 3 人の賛成多数により決定した。 [芦屋市情報公開条例第 19 条の規定により非公開・一部公開は出席者の 3 分の 2 以上の賛成が必要] ＜非公開・一部公開とした場合の理由＞ 会議を公開することにより、当該会議の公正又は円滑な運営に支障が生じると認められるため及び審議の内容に個人情報等が含まれるため。
傍 聴 者 数	0 人 (公開又は一部公開の場合に記入すること。)

○会議次第

- 1 開会
- 2 議事

(1) 景観地区内における大規模建築物等の景観協議について
ア 一戸建ての住宅 (山手町 1 9 9 番)

(2) その他

- 3 閉会

○提出資料

大規模建築物等景観協議届出書 図面一式

○審議内容

ア 一戸建ての住宅 (山手町 1 9 9 番)

令和 8 年 4 月 9 日付けで届出のあった建築計画について景観協議を行い、主に下記の内容について景観アドバイザーから意見があった。

- * 計画地は、山手町丘陵地の緑ゆたかな環境に位置しており、周辺のまちなみに調和した建築物、アプローチ空間、植栽スペースを一体的に考慮した計画とし、地域の特徴である石積み擁壁・植栽を継承しつつ、良好なまちなみ形成に寄与する計画とすること。
- * 計画地周辺の緑ゆたかなまちなみを形成している要因となっている植栽計画については、前山公園のマツ類や周辺住宅地の植栽と合わせるなど連続性が感じられるよう、通りから緑量を感じられる配置とし、通り外観に寄与した計画とするこ

と。緑ゆたかな潤いのある既存の樹木については、状態が良好で残せる樹木は残すよう検討すること。

- * 壁面の意匠、主要な材料について、通り外観に対し、圧迫感の軽減に配慮した計画とすること。比較的大きな敷地規模のため、ボリュームのある建築物となるものの、計画地は閑静な住宅地に位置していることから、人が生活している気配を感じることが出来るように、印象を緩和するよう一定の配慮をすること。
- * 敷地に設ける塀や外構等は、計画地周辺で多く見られる花崗岩による石積み擁壁と生垣のまちなみを継承した計画とし、通り景観に対して影響を与えることを認識したうえで、歩行者に圧迫感を与えない塀や外構のしつらえ、規模及び配置とすること。